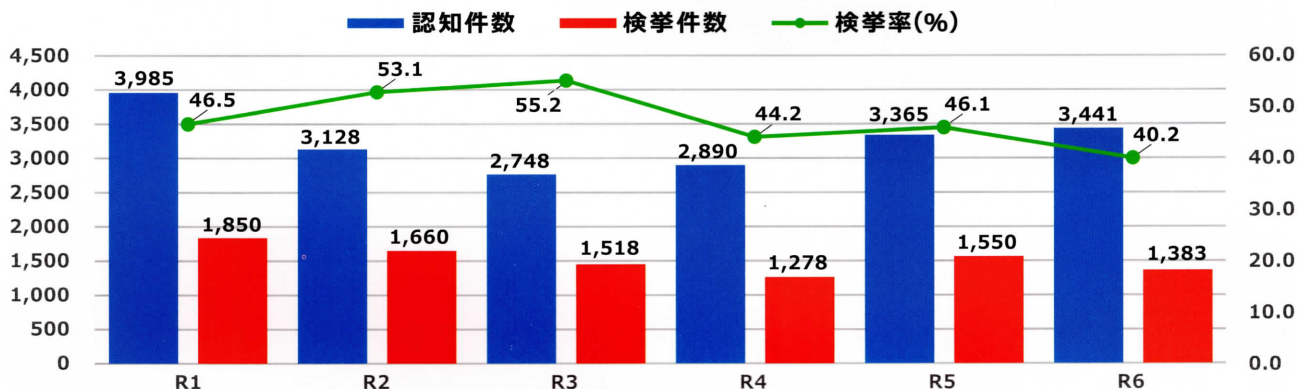


刑事部

悪質な犯罪の検挙を目指して

令和6年中の山梨県の刑法犯認知件数は、3,441件と令和5年と比べ76件増加しました。認知件数のうち窃盗犯が全体の76.6%と多く、自転車盗などの乗り物盗を始め、車上狙いや、銅線などの金属類の盗難など屋外窃盗の認知件数が増加しました。増加の原因としては、屋外は住宅などと比べ防犯性が総じて低く、犯行が容易であることなどが考えられます。また、電話詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺を始めとする詐欺の認知件数が増加しています。

一方で、県警察では各種捜査活動を強力に推進しており、令和6年11月に発生した刃物を使用した連続コンビニ強盗事件にあっては犯人を逮捕し、事件を解決しています。県警察はこれからも県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙に努め、県民の安心・安全のために邁進していきます。



匿名・流動型犯罪グループによる組織犯罪対策の推進



悪質リフォーム業者による詐欺未遂、
特定商取引に関する法律違反事件の証拠品

これまでの組織犯罪は、「暴力団」による犯罪がその典型でしたが、近年、「匿名・流動型犯罪グループ」と呼ばれるものによる犯罪が多発しており、治安対策上の脅威となっています。匿名・流動型犯罪グループとは、明確な組織構造は有しておらず、その都度、SNSや求人サイト等(いわゆる闇バイト)を通じて実行犯を募集し、緩やかに結びついたメンバーからなるもので、中核となる者は匿名化されており、実行者などメンバーを入れ替えながら強盗、窃盗、電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺など多様な資金獲得活動となる犯罪を実行しています。また、各種犯罪により得た収益を別の資金獲得活動に充てるなどして、その活動を継続・拡大させています。

県警察では、匿名・流動型犯罪グループの弱体化・壊滅を図るため、様々な警察活動によって得られた情報を集約し、これを分析して実態解明を図るとともに、犯罪を指示する者などのグループの中心的な役割を果たしている者を検挙するための戦略的な取締りを推進しています。

加えて、匿名・流動型犯罪グループの資金力に打撃を与えるため、各種法律を適用した犯罪収益の没収や追徴を行うなどしており、県警察の総力を挙げた総合的な組織犯罪対策を推進しています。

いわゆる「闇バイト」は、アルバイトではなく犯罪行為です。犯罪グループは、SNSなどで「高額」「即日即金」「ホワイト案件」等の「楽で、簡単、高収入」を強調した求人情報により犯罪の実行者を募集します。犯罪に加われば捕まります。
「怪しい」「まずい」と思ったら、すぐに警察に相談してください。